



日本フラワー・オブ・ザ・イヤー

[ジャパンフラワーセレクション 2023 - 2024]

■ 今年最高の花、日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2023が決定しました！

ジャパンフラワーセレクション実行協議会（事務局：（一財）日本花普及センター）は、切花・鉢物・ガーデニングの各部門で審査会を行い、61品種を業界が推奨できる品種としてジャパンフラワーセレクション受賞品種に選定しました。そして、この受賞品種の中から11月21日（火）に開催した中央審査委員会での厳正な選考の結果、今年の「フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）」を決定しました。（受賞品種のうち、最優秀賞、優秀賞及び特別賞の受賞品種一覧はp. 2～4を参照）

最優秀賞、優秀賞及び特別賞の受賞品種の審査講評等の詳細については、「受賞品種解説」にてご紹介しています（ジャパンフラワーセレクションのHP <http://jf-selections.net/> に掲載）。

ジャパンフラワーセレクション（JFS）とは、2006年4月からスタートした日本で唯一の統一的花きの新品種認定事業です。『いい花の新基準。』を合言葉に、毎年、次々と市場に導入される花きの新品種のなかから、生活者へ自信をもって推奨できる新品種を公正な立場で審査し、業界として推奨できる品種を選定してJFS受賞品種として発表しています。審査は、切花部門、鉢物部門、ガーデニング部門の3部門で行われています。これらJFS受賞品種は、認定登録を経て専用のロゴマーク（JFSマーク）を付けて販売されています。各審査会において受賞品種の中から、ベスト・フラワー（優秀賞）、その他特別賞の選定が行われています。更に、ベスト・フラワー（優秀賞）の中から、年末に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）の選定を行い、その年の日本フラワー・オブ・ザ・イヤーとして表彰しています。なお、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）は、各部門でその年の最も優れた品種に与えられます。

***各品種の審査講評等の詳細については「受賞品種解説」として、ジャパンフラワーセレクションのホームページ <http://jf-selections.net/> の「WHAT'S NEW」に掲載しておりますので、ぜひご覧ください。**



日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2023「最優秀賞」受賞品種

切花部門



品目名：トルコギキョウ
 品種名：エグゼアンティークピンク
 受賞者：カネコ種苗(株) (群馬県)
 育成者：北爪 伸英
 育成者権者：カネコ種苗(株)



鉢物部門



品目名：シクラメン
 品種名：イリュージア ピンクラテ
 受賞者：(株)ハクサン (愛知県)
 育成者：Schoneveld Breeding
 育成者権者：(株)ハクサン



ガーデニング部門 *本年度のガーデニング部門のフラワー・オブ・ザ・イヤーは3品種選定されました。



品目名：フロックス
 品種名：オープニングアクト ピンクアドット
 受賞者：(株)ハクサン (愛知県)
 育成者：Walters Gardens
 育成者権者：(株)ハクサン



品目名：ブッドレア
 品種名：パグスター アメジスト
 受賞者：(株)ハクサン (愛知県)
 育成者：Spring Meadow Nursery
 育成者権者：(株)ハクサン



品目名：ペチュニア
 品種名：サフィニアプチ さくらもこもこ
 受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 育成者：松原 晋、諏訪 理恵子
 育成者権者：京成バラ園芸(株)

日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2023 最優秀賞・優秀賞・特別賞の受賞品種・受賞者

切花部門 / 鉢物部門 / ガーデニング部門

切花部門

品目	品種名	受賞者	育成者（または育成者権者）	審査会	賞名
トルコギキョウ	エグゼアンティークピンク	カネコ種苗(株)	北爪 伸英	春	フラワー・オブ・ザ・イヤー (最優秀賞)
トルコギキョウ	エマライトブルー	カネコ種苗(株)	北爪 伸英	春	ベスト・フラワー (優秀賞) ジャパンデザイン特別賞
バラ	シュガーボム!	イノチオ精興園(株)	Petrus Schreurs	秋	ベスト・フラワー (優秀賞)、 フォトジェニック特別賞、 モーストジョイ特別賞
キク	クチュール	(株)デリフローラルジャパン	Deliflor Royalties B. V.	春	ライフデザイン特別賞
キク	スーパーボウル	(株)デリフローラルジャパン	Deliflor Royalties B. V.	春	グッドパフォーマンス特別賞
キク	デセオ	(株)デリフローラルジャパン	Deliflor Royalties B. V.	春	ライフデザイン特別賞
キク	セイリリーク	イノチオ精興園(株)	イノチオ精興園(株)	春	カラークリエイト特別賞
バラ	セドナ!	イノチオ精興園(株)	Petrus Schreurs	春	フォトジェニック特別賞
バラ	プリマネーヴェ	イノチオ精興園(株)	(有)本田園芸	春	グッドパフォーマンス特別賞
キク	マスカレード	(株)デリフローラルジャパン	Deliflor Royalties B. V.	秋	ジャパンデザイン特別賞
デルフィニウム	F1 ルチアスカイブルー	(株)ミヨシ	磯部 知里	秋	ブリーディング特別賞
グロリオサ	シキブ2	JA あいち中央グロリオサ研究会	小澤 只嗣	秋	ジャパンデザイン特別賞 モニター特別賞 (秋)
バラ	ビズビズ (Bisou Bisou)	(株)ROSETIQUE JAPAN	今井 清	秋	グッドパフォーマンス特別賞
バラ	マサコ	(有)アミノ	今井 清	秋	ライフデザイン特別賞
バラ	ユハル	(有)アミノ	今井 清	秋	フレグランス特別賞

鉢物部門

品目名	品種名	受賞者	育成者(または育成者権者)	審査会	賞名
シクラメン	イリュージア ピンクラテ	(株)ハクサン	Schoneveld Breeding	秋	フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)
アジサイ	YULIKA	(有)さかもと園芸	ピムマ ティアムチャイ	春	ベスト・フラワー(優秀賞) フォトジェニック特別賞
アジサイ	月うさぎ	島根県	女鹿田博之、加古哲也、 稲村博子 清水由佳	春	ベスト・フラワー(優秀賞) ブリーディング特別賞 モニター特別賞(春)
ユーフォルビア (ポインセチア)	プリンセチア ピュアレッド	サントリーフラワーズ(株)	サントリーフラワーズ(株)	秋	ベスト・フラワー(優秀賞) ブリーディング特別賞 モニター特別賞(秋)
ファレノプシス	ライラ	(有)椎名洋ラン園	椎名 正剛	秋	ベスト・フラワー(優秀賞) ライフデザイン特別賞
マーガレット	京都恋物語	シミズナーセリー	シミズナーセリー	春	ジャパンデザイン特別賞
ヘデラ	森の妖精	永尾園芸	永尾 寿夫	春	ニューバリュー特別賞
アジサイ	Ange Noir	久保田花園	久保田 哲也	春	モーストジョイ特別賞
アジサイ	Bonita	久保田花園	久保田 哲也	春	ニュースタイル特別賞
アジサイ	ポージブークエリー	(有)さかもと園芸	ピムマ ティアムチャイ	春	ライフデザイン特別賞
バラ	ゼブティ	(株)エム・アンド・ビー・フローラ	Meilland	春	グッドパフォーマンス特別賞
マーガレット	レディフレア	静岡県東部花き流通センター農業協同組合	武藤 貴大 勝岡 弘幸	秋	ジャパンデザイン特別賞
シクラメン	ジックス ピンク	(株)ハクサン	Schoneveld Breeding	秋	グッドパフォーマンス特別賞
ファレノプシス	シナモン	(有)椎名洋ラン園	椎名 正剛	秋	フォトジェニック特別賞

ガーデニング部門

*本年度のガーデニング部門のフラワー・オブ・ザ・イヤーは3品種選定されました。

品目名	品種名	受賞者	育成者(または育成者権者)	観察期間	賞名
フロックス	オープニングアクト ピンクアドット	(株)ハクサン	Walters Gardens	2023. 4/7 ~ 11/7	フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)
ブッドレア	パグスター アメジスト	(株)ハクサン	Spring Meadow Nursery	2023. 4/7 ~ 11/7	フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

ペチュニア	サフィニアブチ さくらもこもこ	サントリーフラ ワーズ(株)	松原 晋、 諏訪 理恵子	2023.4/14 ~ 9/12	フラワー・オブ・ザ・イヤー (最優秀賞)
ロベリア	アーリースプリ ングピンク	(株)エム・アンド・ ビー・フローラ	Ball Horticultural Company	2023.4/1 ~ 7/25	ベスト・フラワー (優秀賞) コンテナ・ガーデンパフォーマンス 特別賞
ビデンス	キャンプファイヤー レモンシロップ	(株)ハクサン	Psenner	2023.4/7 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞) ガーデンパフォーマンス特別賞 モーストジョイ特別賞 フォトジェニック特別賞
トレニア	スーパートレニア カタリーナ アメ ジスト	(株)ハクサン	(株)ハクサン	2023.5/19 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞) ガーデンパフォーマンス特別賞
ニューギニアイ ンパチェンス	サンパチェンス スイートハート	(株)サカタのタ ネ	(株)サカタの タネ	2023.5/19 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞)
ニューギニアイ ンパチェンス	サンパチェンス ホワイト(ver.2)	(株)サカタのタ ネ	(株)サカタの タネ	2023.5/19 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞)
アンゲロニア	エンジェルダンス バイオレットバイ カラー	(株)エム・アンド・ ビー・フローラ	Ball Horticultural Company	2023.5/26 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞) コンテナ・ガーデンパフォーマンス 特別賞
アンゲロニア	エンジェルダンス フクシアバイカラー	(株)エム・アンド・ ビー・フローラ	Ball Horticultural Company	2023.5/26 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞) コンテナ・ガーデンパフォーマンス 特別賞、モーストジョイ特別賞
ニチニチソウ	夏花火 レッド	(株)エム・アンド・ ビー・フローラ	(株)ミヨシ	2023.5/26 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞) コンテナ・ガーデンパフォーマンス 特別賞、カラークリエイト特別賞
コリウス	トレイルブレイザー ロードトリップ	(株)エム・アンド・ ビー・フローラ	Ball Horticultural Company	2023.5/26 ~ 11/7	ベスト・フラワー (優秀賞) ガーデンパフォーマンス特別賞
カンパニュラ	マジスティック ブルー	(株)ハクサン	WinGen	2023.4/7 ~ 11/7	ガーデンパフォーマンス特別賞 ニュースタイル特別賞
ペラルゴニウム	スーパーゼラニウム チャンピオン ロー ジー	(株)ハクサン	Psenner	2023.4/7 ~ 9/12	コンテナパフォーマンス特別賞
コリウス	バレッティ メル セデス	(株)エム・アンド・ ビー・フローラ	Young Sun	2023.5/26 ~ 11/7	カラークリエイト特別賞
コリウス	マイクロブレイズ マッチスティック	(株)エム・アンド・ ビー・フローラ	Ball Horticultural Company	2023.5/26 ~ 11/7	ガーデンパフォーマンス特別賞
ルドベキア	サンベキア オフ イーリア	高松商事(株)	Hartwig Bull	2023.6/23 ~ 11/7	コンテナ・ガーデンパフォーマンス 特別賞

ジャパンフラワーセレクションの授賞体系について

1. フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）

- ・各部門の中で最も優れた品種に授与します。

2. ベスト・フラワー（優秀賞）

- ・各部門で、花や葉の美しさなど、品種特性の優位性や新規性に加えて、生活者の視点から「育てやすさ」「購入しやすさ」「飾りやすさ」なども評価し、総合的に優秀と認められる品種に授与されます。
- ・各審査会での10点満点の8.0点以上の品種です。ベスト・フラワーは、上記1のフラワー・オブ・ザ・イヤーの候補となり、11月に開催される中央審査委員会でフラワー・オブ・ザ・イヤーが決定されます。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

- ・各審査会での受賞品種（10点満点の7.0点以上）の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。

なお、以下の賞が予定されていますが、該当品種が見当たらない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたらしてくれる品種に授与されま
す。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザ
インの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになく新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた
品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」（切花部門・鉢物部門）

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱いやすく、育てやすい品種に授与されます。

「コンテナパフォーマンス特別賞」「ガーデンパフォーマンス特別賞」（ガーデニング部門）

コンテナとガーデンの両方のパフォーマンスに優れている場合は、「コンテナ・ガーデンパフォーマンス特別賞」と
表記します。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになく価値観や形質を生み出し、育種の開発コン
セプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されま
す。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあるだけで日々の生活を楽しくさせ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「フォトジェニック特別賞」(新設)

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしたくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者または市場関係者・買参人等のモニター調査の結果、JFS 受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

4. ジャパンフラワーセレクション受賞 (JFS 入賞)

・各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記3の特別賞の候補となります。

(参考)

過去の日本フラワー・オブ・ザ・イヤー「最優秀賞」受賞品種

(平成18年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2006 最優秀賞

切花部門：キリンアグリバイオ㈱ (東京都) / バラ「ラ・カンパネラ」
鉢物部門：坂本正次 (群馬県) / アジサイ「フェアリーアイ」
花壇苗部門：㈱サカタのタネ (神奈川県) / ビオラ「サンベリーナ プチモルフォ」

(平成19年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2007 最優秀賞

切花部門：中曽根健 (長野県) / トルコギキョウ「コサージュグリーン」
鉢物部門：㈱セントラルローズ (岐阜県) / バラ「ピンクノーム」
花壇苗部門：㈱サカタのタネ (神奈川県) / インパチェンス「サンパチェンスラベンダー」

(平成20年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2008 最優秀賞

切花部門：㈱サカタのタネ (神奈川県) / トルコギキョウ「ロジーナ® ラベンダー」
鉢物部門：㈱向山蘭園 (山梨県) / シンビジウム「メモリーズ オブ ユー」
花壇・コンテナ苗等部門：㈱角田ナーセリー (愛知県) / カレンジュラ「まどかチーズトルテ」

(平成21年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2009 最優秀賞

切花部門：京成バラ園芸㈱ (千葉県) / バラ「サムライ⁰⁸」
鉢物部門：サントリーフラワーズ㈱ (東京都) / ユーフォルビア「プリンセチア ピンクホワイト」
花壇・コンテナ苗等部門：サントリーフラワーズ㈱ (東京都) / ビオラ「こんもりビオラ フィオーリーナ「スノーホワイト」

(平成22年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2010 最優秀賞

切花部門：國枝バラ園 (滋賀県) / バラ「カルピディーム⁺」
鉢物部門：㈱登坂園芸 (群馬県) / ルクリア「ココ」
花壇・コンテナ苗等部門：㈱村岡オーガニック (鳥取県) / ペチュニア「マドンナの宝石 ピンク (マントプ ヴァピソク)」

(平成23年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2011 最優秀賞

苗物部門：㈱サカタのタネ (神奈川県) / ベゴニア「フォーチュン スカーレット」

*平成23年の切花部門、鉢物部門については、同年3月に発生した東日本大震災の影響で中止となりました。

(平成24年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2012 最優秀賞

切花部門：㈱綾園芸 (宮崎県) / ラナンキュラス「ラックス・アリアドネ」
鉢物部門：島根県 / アジサイ「万華鏡」
苗物部門：㈱エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県) / アンゲロニア「セレニータシリーズパープル」

(平成25年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤー2013 最優秀賞

切花部門：秋田県 / ダリア「NAMAHAJEマジック」
鉢物部門：アイファーマーグループ 蘭工房 (愛知県) / ファレノプシス「ラプリーエフェクト」
苗物部門：㈱エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県) / ニチニチソウ「ミニナツ ストロベリー」

(平成26年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2014 最優秀賞

切花部門：(株)ミヨシ(山梨県) / アネモネ 「F1モナリザ ワインホワイト」
鉢物部門：(有)はら園芸(神奈川県) / シクラメン 「里山シリーズ ‘まほろばの里’」
ガーデニング部門：(株)エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県) / ベゴニア 「ワッパー レッドブロンズリーフ」

(平成27年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2015 最優秀賞

切花部門：(株)住化農業資材(大阪府) / トルコギキョウ 「セレブ ターンブルー」
鉢物部門：(有)さかもと園芸(群馬県) / アジサイ 「KEIKO」
ガーデニング部門：(有)綾園芸(宮崎県) / ラナンキュラス 「ラックス ピュタロス」

(平成28年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2016 最優秀賞

切花部門：秋田県 / ダリア 「NAMAHAGE チーク」
鉢物部門：島根県 / アジサイ 「銀河」
ガーデニング部門：(株)ハクサン(愛知県) / ペチュニア 「スーパーチュニア®ビスタ ミニブルースター」

(平成29年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2017 最優秀賞

切花部門：京成バラ園芸(株)(千葉県) / バラ 「カーマインクラシック」
鉢物部門：宇佐美園芸(愛知県) / エラチオールベゴニア 「ルネッサンスプット NEO」
ガーデニング部門：サントリーフラワーズ(株)(東京都) / スカエボラ 「サンク・エール ディープブルー」

(平成30年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2018 最優秀賞

切花部門：京成バラ園芸(株)(千葉県) / バラ 「シーアネモネ」
鉢物部門：(有)椎名洋ラン園(千葉県) / ファレノプシス 「ナオミゴールド」
ガーデニング部門：(株)ハクサン(愛知県) / ランタナ 「スーパーランタナ ムーンホワイト」

(令和元年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2019 最優秀賞

切花部門：(有)たなまち園芸場(福岡県) / バラ 「レッドワイン&ローズ」
鉢物部門：(株)ハクサン(愛知県) / アジサイ 「ラグランジア ブライダルシャワー」
ガーデニング部門：高松商事(株)(千葉県) / バラ 「トゥルーブルーム レッドキャプテン」

(令和2年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2020 最優秀賞

切花部門：イノチオ精興園(株)(広島県) / キク 「セイフェスト」
切花部門：(有)たなまち園芸場(福岡県) / バラ 「ブライダルマカロン」
鉢物部門：(有)矢祭園芸(福島県) / シクラメン 「ローゼス ピンクバイカラー万重EX」
ガーデニング部門：(株)ハクサン(愛知県) / ガイラルディア 「スピントップ イエロータッチ」

(令和3年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2021 最優秀賞

切花部門：(株)ミヨシ(山梨県) / トルコギキョウ 「チアライト ピンク」
鉢物部門：久留米花卉園芸農業協同組合(福岡県) / アジサイ 「月虹(げっこう)」
ガーデニング部門：タキイ種苗(株)(京都府) / ジギタリス 「パンサー」
ガーデニング部門：(株)エム・アンド・ビー・フローラ(山梨県) / ペラルゴニウム 「レッドエクスプロージョン」

(令和4年) 日本フラワー・オブ・ザ・イヤ－2022 最優秀賞

切花部門：鹿児島県 / テッポウユリ 「咲八姫(さくやひめ)」
鉢物部門：石原産業(株)(大阪府) / ファレノプシス 「Blue Gene(ブルージーン)」
ガーデニング部門：(株)ハクサン(愛知県) / ガイラルディア 「スピントップ スターバースト」

切花部門

フラワー・オブ・ザ・イヤ― (最優秀賞) 2023

カネコ種苗(株) トルコギキョウ「エグゼアンティークピンク」

受賞者 : カネコ種苗(株) (群馬県)
 育成者 : 北爪 伸英
 育成者権者 : カネコ種苗(株)
 ホームページ : <http://www.kanekoseeds.jp>
 審査講評 : 赤みの強いアンティークカラーの中大輪で、
 花弁数が多く強いフリンジが豪華。人気の
 ベージュ系従来品種「ウェーブクラシカ」よ
 りも赤みが強く、シックでありながら華やか
 さもあり時流にマッチした雰囲気が見事。

色目に微妙な揺らぎがある点もよい。く
 すみ系カラーは用途のシーンを選ぶが、
 人気の高さが続いている。
 買参人と市場関係者の人気投票でも第1
 位となった。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

シックで落ち着いた雰囲気のあるアンティーク系花色は、近年ブライダルを中心に人気が高まっています。弊社ではウェーブクラシカやクラシカル等のアンティーク系花色の品種を販売してきましたが、フリンジ咲きの品種が無かったため、アンティーク系花色で豪華な花形の品種を目的として開発を行いました。

【開発の面白さ・今後の展開など】

ユーストマ(トルコギキョウ)は同じ品種でも作型や生産者によって花の色や表情に違いが出やすいため、新品種の候補が期待通りにならないこともあり、そこが難しく、且つ面白いところです。エグゼアンティークピンクは高温期の栽培は難しいため、より高温期栽培に適した品種の開発も行っています。

鉢物部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

（株）ハクサン シクラメン「イリュージア ピンクラテ」

受賞者：（株）ハクサン（愛知県）
 育成者：Schoneveld Breeding
 育成者権者：（株）ハクサン
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 審査講評：従来のシクラメンとは一味違う上向きで咲く花は、まるでサクラの花のよう。内側の花弁の突起など獨創性にあふれ、豪華で新規性に富んでいる。

連続開花性にすぐれ、花もちもよい。コンパクトな草姿だからこそ、上向き咲きが生きているのだろう。気持ちを明るくしてくれるような魅力がある。種子系F1品種のため、揃いがよく生産効率が高い。



■受賞者コメント

【開発の経緯・開発のコンセプト】

次々と上向きに花が咲く進化系品種です。1輪の花持ちが良く、株を覆いつくすほど豪華に咲き誇ります。突起状の内側の花弁が幻想的なイメージです。様々な特徴的を持つ一方、種子系F1品種のため価格的にも手に取りやすく、多くの方にお楽しみいただけるかと思えます。

【開発の面白さ・今後の展開など】

シクラメンを中心にF1種子系品種をオランダで開発しています。イリュージアを開発するのに7年以上の歳月がかかりましたが、画期的な品種を世に送り出すことができるとても嬉しく思います。今後も色々出てきますのでお楽しみに！

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

（株）ハクサン フロックス「オープニングアクト ピンクアドット」



受賞者：（株）ハクサン（愛知県）
 育成者：Walters Gardens
 育成者権者：（株）ハクサン
 ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>
 観察期間：2023年4月7日～11月7日
 審査講評：

淡ピンク色の花弁と中心に濃いピンクの星形のアイの組み合わせが季節を問わず、また誰にでも好まれる印象の宿根フロックス。鮮やかで美しいグリーンの葉との組み合わせが一層さわやか。観察期間中、花の柔らかな印象とは違った強健さを確認できた。耐暑性が強く、生育旺盛で分枝性にすぐれ、満開後に切り戻せば秋まで返り咲く連続開花性に富んでいた。切り戻し後の草姿が格別美しく、花の大きさも小さくならず、花上がりがよく花数も減らない。フロックスの大敵であるうどんこ病に強いことも特筆に値する。



5/25撮影



▲2023/4/20
（定植後13日）



▲2023/5/25
（定植後48日）



▲2023/6/8
（定植後62日）



▲2023/8/3
（定植後118日）



▲2023/9/14
（定植後160日）



▲2023/10/26
（定植後202日）



▲2023/4/20（定植後13日）



▲2023/5/25（定植後48日）



▲2023/8/31（定植後146日）



▲2023/9/26（定植後172日）

■受賞者コメント【開発の経緯・コンセプトなど】生育旺盛で分枝性に優れます。フロックスの大敵であるうどんこ病に強い。満開後に切り戻すれば秋まで何度も返り咲き、一年草のように長く花を楽しめます。耐暑性は高く、耐寒性は-30℃程度と日本全国で栽培可能です。

【開発の面白さ・今後の展開など】アメリカでPROVEN WINNERSのペレニアルを中心に開発しています。これまでの宿根草の枠にとらわれず、より育てやすく、手間がかからず、観賞価値の高いものをお届けしています。今後ご期待ください。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

（株）ハクサン ブッドレア「パグスター アメジスト」



受賞者：（株）ハクサン（愛知県）

育成者：Spring Meadow Nursery

育成者権者：（株）ハクサン

ホームページ：<https://hakusan1.co.jp/>

観察期間：2023年4月7日～11月7日

審査講評：樹高、株幅ともに約60cmとコンパクトな樹形の新しいタイプのブッドレアで、花壇だけでなく、コンテナで楽しむこともできる。アメジスト色の花穂はふっくらとボリューム感があり、数も多く存在感たっぷり。特徴ある花穂がランダムに咲くコケティッシュな姿は、花がらをあまり目立たせないほど。従来のブッドレアのように蝶が芳香・蜜に蝶が引き寄せられる姿も見られた。

新枝咲きで何度も繰り返し花を長く楽しめるが、株のまとまりをくずさないのは大きな利点だろう。耐寒性、耐暑性にすぐれ、日本全国で栽培可能。ステムが強く、枝折れしにくい。



7/25撮影



▲2023/4/20
(定植後13日)



▲2023/6/22
(定植後76日)



▲2023/8/3
(定植後118日)



▲2023/8/31
(定植後146日)



▲2023/9/26
(定植後172日)



▲2023/10/26
(定植後202日)



▲2023/4/20 (定植後13日)



▲2023/6/22 (定植後76日)



▲2023/7/20 (定植後104日)



▲2023/10/12 (定植後188日)

■受賞者コメント【開発の経緯・コンセプトなど】樹高、株幅ともに約60cmとコンパクトで鉢栽培も可能です。通常のブッドレアよりもふわふわでボリュームのある花穂のため、かわいらしさも併せ持ちます。蝶が引き寄せられる香りの良い花を繰り返し楽しめます。耐寒性-28℃で耐暑性も高く、日本全国で栽培可能です。

【開発の面白さ・今後の展開など】アメリカよりPROVEN WINNERSのシュラブ品種をお届けしています。小さなスペースにもフィットする小型品種や花が咲く時期以外にも観賞価値の高い葉の綺麗な品種などを中心に開発しています。年々厳しくなる夏の環境下でも、最低限のお手入れで楽しめる品種をこれからもお届けしてまいります。

ガーデニング部門

フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）2023

サントリーフラワーズ（株）ペチュニア「サフィニアプチ さくらもこもこ」



受賞者：サントリーフラワーズ（株）（東京都）
 育成者：松原晋、諏訪理恵子
 育成者権者：京成バラ園芸（株）
 ホームページ：https://www.suntory.co.jp/flower
 観察期間：2023年4月14日～9月12日
 審査講評：

花色、花形、サイズが小さなサクラの花弁のようなペチュニア。ピンク色は夏でも退色しなかった。名前のごとくモコモコとドーム状にまとまる草姿は新規性がある。観察中にピンチは行わなかったが、花数も多く、蒸れもなく連続開花していた。耐暑性が高く、花がらも目立たず、メンテナンスが簡単なことも評価できる。とりわけ、屋根付きのハウスの中での観察は、鉢を覆うようにこんもりとしたパフォーマンス見られた。花が小さくかわいらしいこともあり、ガーデンなど修景用というより、近くで観賞するコンテナ植えにお薦めしたい。



▲2023/4/20
（定植後6日）

▲2023/5/25
（定植後41日）

▲2023/7/6
（定植後83日）

▲2023/7/20
（定植後97日）

▲2023/8/17
（定植後125日）

▲2023/8/31
（定植後139日）



▲2023/4/20（定植後6日）

▲2023/6/8（定植後55日）

▲2023/7/20（定植後97日）

▲2023/8/31（定植後139日）

■受賞者コメント【開発の経緯・コンセプトなど】「可愛い、強い！」がこの品種のコンセプトです。「さくらもこもこ」はまるで桜のような極小輪の花弁と、もこもことしたぎゅっとまとまる草姿が特徴です。また、可愛らしい見た目にもかかわらず、暑さや蒸れにも強いのでガーデンパフォーマンスの良さも魅力です。

【開発の面白さ・今後の展開など】コンパクトタイプのペチュニアは株元が蒸れやすく、梅雨時期に枯れ込むことが多いです。消費者の方々に夏を越えて長く楽しんでいただくため、暑さ・蒸れに強い品種を開発・選抜できたことは困難でしたが面白くもありました。今後は花色展開を目指しています。



ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、
業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。



<http://www.jf-selections.net/>



いい花の**新基準**。

<http://www.jf-selections.net/>

ジャパンフラワーセレクション実行協議会
東京都中央区東日本橋3-6-17山一ビル4F
一般財団法人日本花普及センター内
TEL : 03-3664-8739 FAX : 03-3664-8743
メール : jfpc@jfpc.or.jp